



大正天皇即位の記念事業の一環として新築された西陣織物館（現・京都市考古資料館）では、新製品の展示即売会の他、国内外に伝来した「織物に関係ある名品秘宝」を借用し陳列する展覧会が、大正4年（1915）より約10年間にわたり開催されました。京都周辺の名刹のほか、当時の染織コレクターから借り受けられた染織品は、4か月ごとにテーマを変えて陳列され、好評を博したといえます。

そうした中、主催者の間では、これらの貴重な染織品をどうにかして記録したいとの考えが起こり、特に優れた作品を選定し、版画とコロタイプで意匠を再現した染織図案集が企画・発行されました。それが『綾錦』です。

本書を紐解くと、能装束や古更紗こさらさの巻には、出品者として当館の基礎を築いた初代根津嘉一郎（1860～1940）の名を数多く見出すことができます。このことは、大正期に嘉一郎が染織品のコレクターとして知られた人物であったことを示すだけでなく、掲載図案により、どのような染織品を所蔵していたかも判明するのです。

本展覧会では、『綾錦』に掲載された嘉一郎の所蔵品のうち、現在確認できる20点を展観します。茶道具他の蒐集品の陰に隠れて、染織コレクターとしてはそれほど著名と言えない嘉一郎の新たな一面をご覧いただくとともに、近代の西陣で認められたその染織コレクションの粋をお楽しみください。

2025年 **12月20日**（土）～ 2026年 **2月1日**（日） 日時指定予約制

根津美術館 NEZU MUSEUM <https://www.nezu-muse.or.jp>



展示室1・2 綾錦 —近代西陣が認めた染織の美—

染織図案集『綾錦』



『綾錦』第6巻 西陣織物館編
日本・大正8年(1919)
根津美術館蔵



大正5年から14年にかけて、京都の美術
書肆・芸艸堂から刊行された全11冊の
染織図案集 (内1冊は古鏡号)。画家や図
案家による模写を下絵とする細密な版
画に加え、その装幀のためだけに織り
出された表紙も見どころ。



ぬいはく しろじ せいがいはい せんめんちらしもよう
縫箔 白地青海波に扇面散模様
1領 絹
日本・江戸時代 17～18 世紀
根津美術館蔵

とりどりの色糸で縫いあらわした植物模様を収めた扇
面を全体に散し、その間を摺箔の青海波模様で充填した
縫箔。『綾錦』第6巻には5ページにわたって本作の全体・
部分図が取り上げられ、注目度の高さがうかがわれる。



からおり うすちゃじ いけだみだんか みつおうぎちらしもよう
唐織 薄茶地石畳団花に三扇散模様
1領 絹
日本・江戸時代 19 世紀
根津美術館蔵

石畳模様の地の上に桐、椿、橘、竜胆、三扇などの模
様を散らした唐織。能装束の意匠を収めた『綾錦』
第6巻の表紙は本作の模様を再構成したもの。



ふりぞで りんず じ み す ひおうぎもよう
振袖 綸子地御簾檜扇模様
2領 絹
日本・江戸時代 19 世紀
国立歴史民俗博物館蔵

背面に大きく御簾と檜扇をあらわした振袖。模様を同じくしながら地色を紅
と白に変えた2領が一式で伝わることから、婚礼衣装とみられる。染織コレク
ターとして知られた野村正治郎旧蔵。『綾錦』第2巻に掲載。

展示室 1・2 綾錦 —近代西陣が認めた染織の美—



ぬいはく べにあさぎだんしだれざくらおながどりもよう
縫箔 紅浅葱段枝垂桜尾長鳥模様
1領 絹
日本・江戸時代 18世紀
根津美術館蔵

身頃には枝垂桜を背景に舞い遊ぶ優美な尾長鳥、裾には愛らしい菫と蒲公英を刺繍であしらひ、三色に染分けた地には、摺箔で白地に立涌、浅葱地に流水、紅地に唐草と模様を変えてあらわす。『綾錦』第6巻に掲載。



ぬいはく ちゃしたてわくゆきもちまつもよう
縫箔 茶地立涌雪持松模様
1領 絹
日本・桃山時代 17世紀
根津美術館蔵

豪壮な雪持松が桃山時代の雰囲気を与える子方の縫箔。大正2年(1913)発行の「西本願寺大谷家売立目録」に同作と思しき作品名が掲載されている。『綾錦』第6巻に掲載。



こさらさちよう
古更紗帖
1帖 木綿、紙
インド他 17～18世紀
根津美術館蔵

更紗はインド発祥の模様染で、本作はその断片を貼り付けて折帖にまとめたもの。古更紗の意匠を収めた『綾錦』第8巻に掲載。

同時開催展

展示室 5 呉州手 —吉祥の器—

民窯ならではののびやかな絵付けで、吉祥文様が描かれた磁器「呉州手」。日本人がこよなく愛した中国のうつわをご堪能いただきます。

ごす あかえ きりんもんおおざら
呉州赤絵麒麟文大皿
漳州窯系
1枚
中国・明時代 17世紀
根津美術館蔵



中央に胸を張って座る麒麟、その周囲は花鳥文や赤玉文で埋め尽くす。明るい赤を基調に描かれた呉州手の赤絵は、この賑やかさが魅力である。

展示室 6 初釜 —新春を寿ぐ—

「初釜」は、正月に初めて釜を掛けて催す茶会のこと。新年を寿ぎ、おめでたい道具や、その年の干支にちなんだ道具を取り合わせます。

かざつぎやいれ 投駒
肩衝茶入 銘 躍駒
瀬戸または美濃
1枚
日本・江戸時代 17世紀
根津美術館蔵



元気な仔馬を意味する「躍駒」を銘として持つ茶入。胴の正面に大胆に入れられた窺目を跳ね上がる仔馬に見立てたか。

関連催事

展示室 1・2 綾錦 ―近代西陣が認めた染織の美―

スライド レクチャー

担当学芸員がスライドを使って展示解説を行います。

日時：1月9日（金）、1月23日（金） いずれも 11 時 30 分～ 12 時 15 分

会場：根津美術館 講堂

※ 当館ホームページから参加をお申し込みください。美術館入館料が必要です。
各レクチャーは同内容です。

開催概要

展覧会名 企画展 あやにしき 綾錦 ―近代西陣が認めた染織の美―

日時指定予約制

スムーズなご入館と快適な鑑賞のために、当館ホームページで日時指定入館券をご購入ください。（招待はがき等をお持ちで入館料無料の方もご予約ください。）

主催 根津美術館

開催期間 2025 年 12 月 20 日 [土]～2026 年 2 月 1 日 [日]

開館時間 午前 10 時～午後 5 時（最終入館 午後 4 時 30 分）

休館日 毎週月曜日、ただし 1 月 12 日（月・祝）は開館、翌火曜日休館
※ 12 月 27 日（土）～1 月 5 日（月）は年末年始休館

入館料 オンライン日時指定予約 一般 1300 円（1100 円） 学生 1000 円（800 円）
・（ ）内は障害者手帳提示者及び同伴者 1 名の料金。中学生以下は無料。
・当日券（一般 1400 円、学生 1100 円）も販売しております。
（ご予約の方を優先してご案内いたします。当日券の方はお待ちいただくことがあります。
混雑状況によっては当日券を販売しないことがあります。）
・2025 年 12 月 9 日 [火] 午後 1 時より当館ホームページで予約を受け付ける予定です。
・ご予約は 1 グループ 10 名までとさせていただきます。

アクセス 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車 A5 出口（階段）より徒歩 8 分、
B4 出口（階段とエスカレータ）より徒歩 10 分、B3 出口（エレベータまたはエスカレータ）より徒歩 10 分

住所 〒107-0062 東京都港区南青山 6-5-1

お問い合わせ Tel. 03-3400-2536（代表）
website <https://www.nezu-muse.or.jp>

広報・取材の
お問合せ 学芸部 広報課 所／村岡
Tel. 03-3400-2538（直通） e-mail: press@nezu-muse.or.jp

当館の広報制作物に関して、郵送からメール配信への切り替えをご希望の方は、根津美術館 広報課へ
どうぞお知らせください。（press@nezu-muse.or.jp）

次回展

企画展 えい し さつ そう 「英姿颯爽 ―根津美術館の武器・武具―」

2026 年 2 月 14 日 [土] ～ 3 月 29 日 [日]

実は重要作を数多く含み、知る人ぞ知る充実した内容を誇る根津美術館の武器・武具。
その美しく凛々しい世界をお楽しみください。



左：早蕨金具脇差拵 刀装具：海野勝珉作 日本・明治時代 20 世紀
右：雪華図大小鐺 後藤一乗作 日本・江戸時代 天保 14 年（1843）
いずれも部分・根津美術館蔵

※本資料掲載の内容は、予告なく変更になる場合がございます。最新の情報は当館広報課 へお問い合わせください。（2025.10）